

デジタル形複合保護継電器検査成績書 P. _____

納入先 _____

検査期日 _____

工事番号 _____

形 式	NS-4B10-D	[不足電圧要素]	[地絡過電圧要素]
動作原理	デジタル	定格電圧：110V cont. 整定範囲：27：60 ～ 90V 27T：即時～1.0s	定格電圧：110V/190V cont. 整定範囲：64V：5 ～ 60V 64VT：即時～1.0s
準 拠 規 格	J E C 2 5 0 0 J E C 2 5 1 1		
制 御 電 圧	D C 1 1 0 V	製 造 番 号	定 格 周 波 数 H z

試験項目・試験結果

温度 _____℃ 湿度 _____%

試 験 項 目	試 験 記 録	結 果
構 造 検 査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括～外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐 電 圧 試 験	回路一括～外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特 性 試 験	（注）下記項目の試験を実施する。	

[不足電圧要素]

1. 動作値

整 定	60V	90V	判 定 基 準
R相	V	V	各整定の±5%以内
S相	V	V	
T相	V	V	

2. 動作時間

（試験条件）動作値整定：最大，入力：110V→整定の70%急変

整 定	即時	0.1s	0.4s	0.7s	1.0s
R相	ms	s	s	s	s
S相	ms	s	s	s	s
T相	ms	s	s	s	s
判定基準	40ms以下	±2.8%以内	±3.5%以内	±4.3%以内	±5%以内
		最大整定値の $\pm \frac{5}{2} \left(1 + \frac{n}{100}\right)$ (%) n:最大整定に対する%			

注1) 実測動作時間の誤差計算式

$$\epsilon = \frac{T_n - T_{10} \times n / 10}{T_{10}} \times 100\%$$

T₁₀：基準動作時間整定での公称動作時間
T_n：動作時間整定nにおける実測動作時間

$$n = \frac{\text{動作時間整定}}{\text{基準動作時間整定}} \times 10$$

注2) 動作時間の判定基準は

最大整定に対する誤差率を示す。

注3) 判定基準が50ms以下になる

場合は許容誤差の下限値±50ms

承認	作成

[地絡過電圧要素]

1. 動作値

整定	5V	60V	判定基準
動作値	V	V	各整定の±5%以内

2. 動作時間 (試験条件) 動作値整定：最小，入力：0V→整定の150%急変

整定	即時	0.1s	0.4s	0.7s	1.0s
動作時間	ms	s	s	s	s
判定基準	60ms以下	±2.8%以内	±3.5%以内	±4.3%以内	±5%以内
		最大整定値の $\pm \frac{5}{2} \left(1 + \frac{n}{100}\right)$ (%) n:最大整定に対する%			

注1) 実測動作時間の誤差計算式

$$\epsilon = \frac{T_n - T_{10} \times n / 10}{T_{10}} \times 100\%$$

T10：基準動作時間整定での公称動作時間

Tn：動作時間整定nにおける実測動作時間

$$n = \frac{\text{動作時間整定}}{\text{基準動作時間整定}} \times 10$$

注2) 動作時間の判定基準は最大整定に対する誤差率を示す。

注3) 判定基準が50ms以下になる場合は許容誤差の下限値±50ms

[共通項目]

1. 負担

判定基準：公称値の110%以内

回路	定格	公称値	測定値	測定値	結果
PT2次回路 (Vrs)	110 V	0.1 VA	mA	VA	
PT2次回路 (Vst)	110 V	0.1 VA	mA	VA	
PT2次回路 (Vtr)	110 V	0.1 VA	mA	VA	
PT3次回路 Vo	110/190 V	0.3 VA	mA	VA	
制御電源	110 V	5 W	mA	W	

2. 制御電源開閉試験

制御電源電圧の開閉及び、緩慢な電源変動で誤動作なき事

結果

3. 動作表示

LEDが表示する事

結果

4. ボタン操作

ボタン操作に従って動作する事

結果